

# ごく微弱な電気で動く身体の細胞。 電磁波の影響を受けないわけがない

北里研究所病院 宮田 幹夫さん

1999年に日本で唯一の化学物質過敏症の専門治療を開始した、北里研究所病院。電磁波過敏症の患者さんが訪れるようになったのは、約8年前。その症状や海外での事例、そして対処法について宮田幹夫さんに聞いた。



Photo: 浅野カズヤ

みやた・みきお  
1936年生まれ、60年名古屋市立大学医学部卒業。88年北里大学医学部眼科学教授。現在、北里大学名誉教授。著書に「化学物質過敏症 ここまできた診断・治療・予防法」(かもがわ出版/共著)など。

## 最新型携帯の変調波が 身体に影響を与える

「身体の細胞は電気で、しかもごく微弱なもので動いているんですね。だから、電磁波が身体に影響しないわけがないんです」。北里研究所病院化学物質過敏症外来の宮田幹夫医師は、こう語る。

99年にオープンした同外来に電磁波過敏症の患者さんが訪れるようになったのは、8年ぐらい前からだという。頭痛、皮膚のチクチク感や、不定愁訴、また関節痛などを訴えている。テレビ、冷蔵庫、コンピユータなどの家庭機器からも電磁波は出ているが、特に肌身離さず持ち歩く携帯電話の影響は大きい。昔の電磁波はサイン波といって、単一の周波数成分のみをもつ波動だったのが、最新型のものには、情報量を多く流すために、波の周波数の変化で伝達する変調波を

用いている。その変調波が、身体に影響を与えやすいといわれているのだ。

「電磁波は身体を酸化させるんですね。ですから酸化防止装置の少ない精子は、電磁波により死んでしまうことがわかっています。また、神経を変性させ、認知症、筋萎縮性側索硬化症などになるとの報告もあります」

宮田医師が電磁波の恐ろしさを目の当たりにしたのは、今から約18年前。アメリカで、「磁場(※1)をかけるとナメクジが整列する」「人に電磁波をかけると痙攣発作を起(けいれん)こす」といった実験結果を聞き、愕然としたという。

その後、電磁波過敏症という言葉が日本でも使われるようになったが、電磁波過敏症は診断の難しさも知られている。

「厄介なのは、いわゆる電磁波過敏症の人と健常者に、新型の携帯

と同じ周波数の電磁波をかけると、過敏の人だけでなく健常者も作業効率が悪くなるんです。先ほども言いましたが、人の身体にも電気が通っていますから、電磁波の影響は誰しも受けるんですね。ですから、逆に言うと、身体の変調といった症状の出る電磁波に対して感受性の強い人たちというのは、電磁波の危険性を前もって知ることのできる「エリート」と言えるのかもしれません」

## WHO、 電磁波は殺虫剤と同等の 発ガン性

海外では、電磁波の影響で白血病にかかる率が増すといった事例も報告されている。WHO(世界保健機関)は発ガン性の要因を「クラス1」「クラス2A」「クラス2B」と分類しているが、超低周波電磁

波は「クラス2B」に属す。このクラスには、DDT(有機塩素殺虫剤)など、かなり以前に使用中止になった殺虫剤が含まれているほどだ。

最も電磁波過敏症の研究が進んでいるといわれるスウェーデンでは、電磁波過敏症の人が人口の約1パーセント存在するといわれており、高圧線の約140メートル以内には家を建てないように勧告も出ている。

一方の日本は、目に見えず、匂いもなく、また症状もわかりづらい電磁波は野放しにされている。電磁波過敏症が正式な病名登録されるにはまだまだ時間がかかるだろうと、宮田医師は言う。「化学物質過敏症も、今から50年以上前にアメリカでセロン・G・ランドルフという人が言い出したんですが、最近ようやく病名登録されました。日本でも単に病名が載ったというだけであつて、正式に認められるま

にはまだまだ時間がかるでしょう。まして電磁波過敏症となると、いつになるか見当もつきません」では、電磁波とうまくつき合っていくには、どうしたらいいのだろうか？

「先ほども言いましたように、電磁波は身体を酸化するので、ビタミンCを取ることでですね。また、神経系の過敏性を抑えるのにマグネシウムが効きますので、適量のがりを取るのもおすすめです。あとは、理論的にはカルシウムですね」

また距離の2乗で電磁波は弱くなるので、高圧線、変電所のそばをなるべく避け、携帯電話もなるべくポケットではなくカバンに入れるだけでも、かなり影響を免れる。また、家庭のコンセントは、アース付き(※2)のものを使うとよいという。

「要するに、バブルの前の世代、つまりおばあちゃんの世代くらいの生活に戻るのでもいいかもしれませんね」と宮田医師。電磁波を考えると、実は自分の生活や生き方とも密接にかかわっている。携帯やコンピユータの電源をオフする時間が、電磁波から身を守るだけでなく、自分の生活や生き方を見直す時間になるかもしれない。

## ⑧(八) 兼加容子

(※1)運動する電荷によって生じる。  
(※2)接地極とも呼ばれる、電気を逃がすための逃げ道のこと。